

## 特定施設設置届出書

記入例

〇〇年 〇月 〇日

堺市長様

住所 〇〇市 〇〇町 〇〇番地  
届出者 〇〇プレス工業株式会社  
氏名 代表取締役 〇〇 太郎  
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
担当者 〇〇 次郎

騒音規制法第6条第1項  
振動規制法第6条第1項  
の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

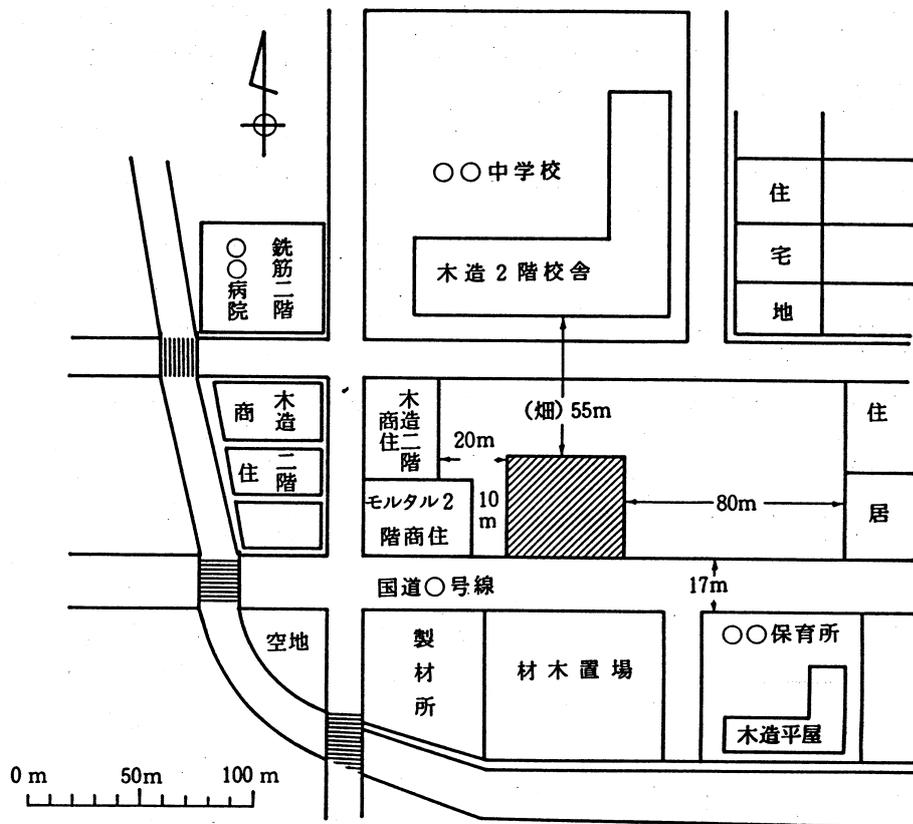
工場または事業場の名称	〇〇プレス工業株式会社 (電話番号 072-〇〇〇-〇〇〇〇)			着工予定年月日 (設置年月日)	〇〇年 〇月 〇日
工場または事業場の所在地	(郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇) 堺市〇区〇〇町〇丁〇-〇			使用開始予定年月日 (使用年月日)	〇〇年 〇月 〇日
工場または事業場の事業内容	自動車部品プレス加工			※ 整理番号	
常時使用する従業員の数	50人			※ 受理年月日	年 月 日
用途地域	準工業地域			※ 施設番号	
資本金	1000万円			※ 審査結果	
騒音(振動)の防止の方法	別紙のとおり			※ 備考	
特定施設の種類	型式	公称能力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
騒音 <del>振動</del> 1-ル 切断機	TCN-256A 〇〇社製	5kW	1	13時00分	16時00分
騒音 振動 1-ホ 機械プレス	クランクプレス 〇〇社製 P-A	490kN	2	8時30分	17時30分
騒音 振動 2 空気圧縮機	往復動型 〇〇社製 WHC	22kW	1	同上	同上

## 添付書類

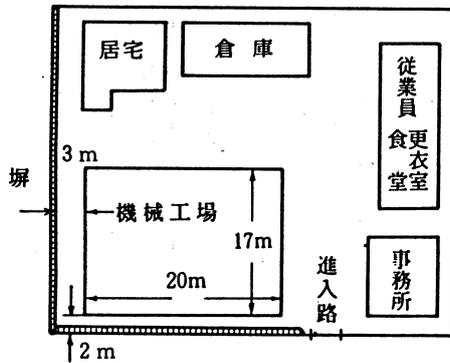
- 工場又は事業場の付近の見取図
- 工場又は事業場の敷地内の建物等の配置図(建物の構造を付記すること。)
- 特定施設の設置場所を記載した工場又は事業場の平面図
- 特定施設の構造概要図
- 敷地境界における騒音(振動)に関する資料

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第1(振動規制法施行令別表第1)に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ、等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 騒音又は振動の防止の方法の欄の記載については、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置、吊基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使用するものをいう。)若しくは空気ばねの設置等騒音又は振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。

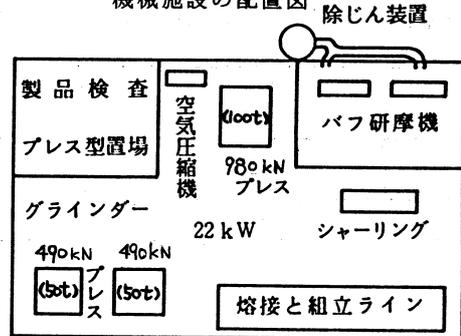
〇〇工場の付近の見取り図



敷地内の建物配置図



機械施設の配置図



1. 東西南北の表示か記号を記入する。

2. 隣地の状況を明記する。

(注) 3. 敷地面積、建物面積等を記載する。

4. 屋外作業の有無を記載する。

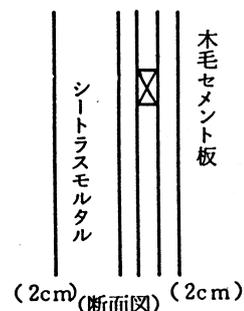
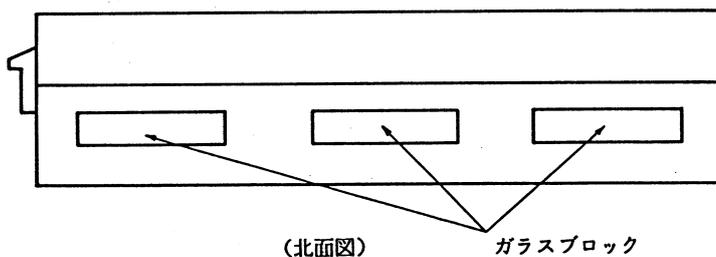
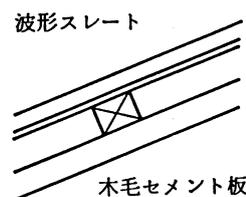
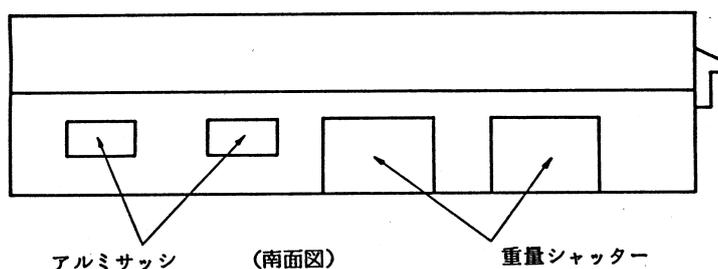
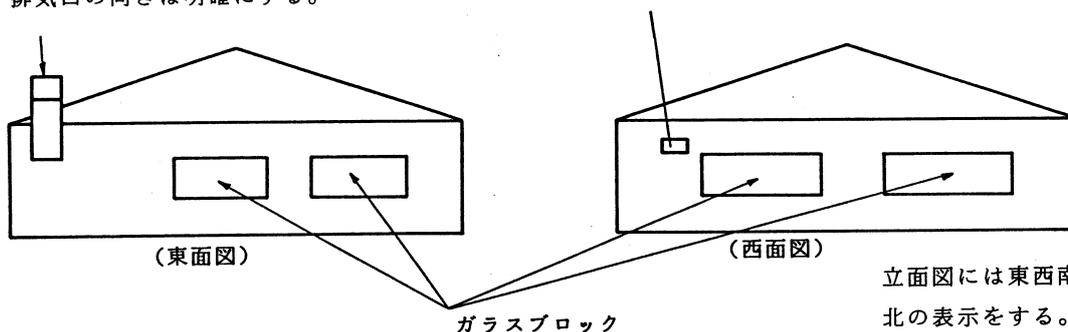
5. 特定施設等から敷地境界までの距離を記入する。

特定工場等及びその付近の見取り図記載例

工場の建物の構造							へいの構造	
	壁(外)	壁(内)	屋根(内)	屋根(外)	窓	扉	材質	コンクリートブロック
材質	シートラスモルタル	木毛セメント板	木毛セメント板	波形スレート	アルミサッシガラス	スチールシャッター(重量)	高さ	1.8m
厚さ	2cm	2cm	2cm	0.65cm	0.5cm	0.16cm	厚さ	10cm

排気口の向きは明確にする。

吸気ガラリ(排気ガラリ)があるときは位置を示す。



以下

- 騒音(振動)防止の方法の説明を箇条書きにて記載する。
- サイレンサー、吸音ダクト等については、型式、メーカ、大きさ等を記入する。
- 製造工程を示し、騒音発生、防止のポイントを明確にする。
- 図の説明をする。
  - ①コンクリートブロック壁にし、内側に吸音処理をする。
  - ②出入口は鉄製の内部に吸音材を充てんした横開き扉にする。
  - ③窓はすべて二重窓にする。
  - ④プレス、せん断機には防振ゴムを敷き、コンクリート基礎に設置する。
- 遮音計算書又は測定結果を添付する。